公 式 記 録

(社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

平成23年度兵庫県高等学校サッカー選手権大会　決 勝 【 47 】

主審署名：松井　健太郎

日 時	2011 年 11 月 13 日（日） 13 ： 05 キックオフ			会 場	ホームズスタジアム神戸		
天 候	晴れ	風	無風	ピッチ	(天然芝)・人工芝・クレー	状 態	良好
試合形式	80 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有						
ﾏｯﾁｺﾐｯｼｮﾅｰ	辺見 康裕	会場主任	堀口 泰司	記 録	田坂 昌彦 ／ 岡本 進司 ／ 菅原 正裕	観 衆	4,500 人
主 審	松井 健太郎	副審1	小川 耕司	副審2	平山 浩輔	第4の審判員	鈴木 義章

チーム名	kick off				延kick off	チーム名
市立西宮高校	0	前半	0	0	前半	神戸弘陵学園高校
	0	後半	0	0	後半	
	0	延前	0	0	延前	
	1	延後	1	1	延後	
	4	PK戦	2	4	PK戦	
1				1		

PK戦	選手番号	4	11	8	5	先	○×	○	○	○	○
PK戦	選手番号	15	10	3	4	(先)	○×	×	○	×	○

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	延前	後半	前半	選手名	(学年)	番号	位置	位置	番号	選手名	(学年)	シュート 前半	後半	延前	延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					中野 啄冶	3年	1	GK	GK	1	山田 亮	3年					分	
	分					柳 圭佑	1年	13	DF	DF	22	中川 喬登	3年		1			分	
	分					帷 智行	3年	(5)	DF	DF	(3)	嶋谷 昇大	3年		1			分	
	分					池上 泰平	3年	4	DF	DF	4	森 佑太	3年					分	
	分					山口 駿太郎	3年	3	DF	DF	5	全 成希	3年					分	
	分			1	1	前野 俊哉	3年	8	MF	MF	7	中西 真樹	3年	1	1			分	
	分					難波 祐輔	3年	7	MF	MF	15	江坂 巧	2年	1		2		分	
	HT 分				1	岡田 大知	2年	15	MF	MF	16	小西 大登	2年			1		分	
	分	1		1		後藤 寛太	3年	10	MF	MF	9	滝野 理貴	3年					分	
	52 分					大道 壮毅	2年	6	FW	FW	10	吉田 直斗	3年	1	2		1＊	分	
	分					指田 真宏	3年	11	FW	FW	11	車 剛史	3年	1	1			延HT 分	
	分					秋元 優介	1年	12	GK	GK	12	鈴木 一馬	3年					分	
15	分					渋谷 大山	2年	2	DF	FW	13	藤井 心豊	3年					分	
6	93 分	1＊		2		細井 優希	1年	14	FW	MF	8	岩本 直樹	3年					分	
	分					平岡 瑞穂	2年	16	MF	MF	19	谷廣 祐人	2年					分	
	分					難波 圭輔	1年	17	MF	DF	2	浅沼 悠	3年					分	
	分					豊原 大智	1年	18	MF	DF	14	吉岡 尊志	3年					分	
	分					津川 拓輝	2年	19	DF	FW	18	松崎 翼	2年					分	11
	分					原田 尚幸	2年	20	DF	DF	23	岡本 健太郎	2年					分	
14	分	1				秋山 諒太	2年	22	MF	DF	24	山田 健太	2年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
26 分	警	13	柳 圭佑	反ス	9	3	0	4	2	シュート	4	6	3	1	14	分				
分					5	1	0	3	1	GK	5	3	0	1	9	分				
分					2	0	1	1	0	CK	1	3	1	1	6	分				
分					13	2	1	4	6	直接FK	3	4	0	0	7	分				
分					0	0	0	0	0	間接FK	0	2	1	0	3	分				
分					0	0	0	0	0	PK	0	0	0	0	0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
	91 分	市西宮	14	細井	1 － 0	中央 ① ∩ ⑭ ～ S
	99 分	神戸弘陵	10	吉田	1 － 1	左 ⑤ ∩ 中央 ポスト はね返り ③ → ⑩ S
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	

戦評者　所属 【 伊丹北・須磨友が丘 】　氏名 【 吉田・尾崎 】

戦評

最良のピッチコンディションの中、市西宮・神戸弘陵ともに４－４－２のシステムで試合が始まる。立ち上がり両チームともに決勝戦の堅さからかパスが思うように繋がらずペースが握れない。10分過ぎより市西宮のＤＦラインが引きすぎているため、神戸弘陵のＤＦラインが余裕を持ってビルドアップでき、神戸弘陵が徐々にペースを握る。市西宮は本来の中盤のダイレクトパスが影を潜めペースが握れない。後半に入り、神戸弘陵は前線よりプレッシャーをかけ、攻撃の特徴であるドリブル突破からの得点を狙う。一方市西宮は⑩後藤を左サイド・中央と裏のスペースへ走らせ、攻撃を仕掛ける。60分過ぎより弘陵がドリブル突破からチャンスを掴む。市西宮は67分⑩後藤、68分⑭細井が連続してＤＦラインの裏を突き、決定機を迎えるが、お互いにＤＦラインとＧＫが体を張ったプレーにより得点を与えず、延長戦に入る。お互いに疲れが見える中、市西宮⑭細井がGKのクリアーボールに鋭く反応し、ＤＦラインと入れ替わり冷静にゴールへ流し込んだ。先制された弘陵は③嶋谷を前線に上げ、パワープレーから得点を狙い、終了間際に左サイドからのクロスボールがポストに当たり跳ね返ったところを⑩吉田が冷静にゴールを決め、同点のまま終了、PK合戦の末、市西宮が勝利を収めた。

［備 考］